

Java Web システム ショッピングサイト

システム名	KEN ショッピングサイト
プログラム名	cart.jsp

KEN School

処理名	カートの中身表示、削除	JSP 名	cart.jsp
業務概要説明			
<p>【処理概要】</p> <ul style="list-style-type: none">● 買い物カゴの中身を表示、削除を行う			

処理名	カートの中身表示、削除	JSP 名	cart.jsp
JSP 詳細			
【JSP 設計】			
項番	項目	値	
1	package	—	
2	class/interface/jsp	jsp	
3	アクセス修飾子	—	
4	修飾子	—	
5	継承元	—	
6	実装元	—	
7	使用クラス/インタフェース	java.util.ArrayList; ken.bean.Item;	
8	アノテーション	—	


図 1

買い物カゴの中身

↓↓現在買い物カゴには以下の商品が入っています。↓↓

タイトル	メーカー等	価格	
① ホリー・ポッター	ケン・ジャイシー	580	取り消し
龍玉60年の歴史	島山明	600	取り消し
ホリー・ポッター	ケン・ジャイシー	580	取り消し
In bar Dream	DATA WEST	7140	取り消し
COW GAME	忍転道	7329	取り消し

↓↓上記の内容で注文画面へ進む場合はこちら↓↓

 上記内容で注文する

↓↓まだ買い物を続けたいので検索画面に戻る場合はこちら↓↓

[検索画面に戻る](#)

処理名	カートの中身表示、削除	JSP 名	cart.jsp
JSP(上記スクリプトレット部分)詳細			
【処理内容】			
1. 図1の①のように表を生成する cart.jsp の中の下記ソース部分中の ① ～ ④ までにそれぞれプログラムを組み込む形をとる			
<pre> <!-- ●！！！！表の作成はここから！！！！● --> <c:forEach var="item" items="①" varStatus="status"> <form action="kenshop" method="post"> <div class="items"> <div class="lineup">②</div> <div class="lineup">③</div> <div class="lineup">④</div> <div class="lineup_btn"> <input type="submit" value="取り消し"> <input type="hidden" name="act" value="remove"> <input type="hidden" name="remove" value="\${status.index}"> </div> </div> </form> </c:forEach> <!-- ↑↑↑↑表の作成はここまで↑↑↑↑ --> </pre>			
1. 繰り返し文を<c:forEach>タグで作成する 例) <c:forEach var="変数名" items="コレクション" varStatus="名前"> 繰り返し処理 </c:forEach>			
※varStatus属性の補足 <c:forEach>タグでは様々な属性が用意されています。今回はvarStatus属性を使用します。varStatus属性は繰り返しにおける様々な状態を保持するもので、カウンタ変数などの情報を持っています。値には名前を指定しますが、任意です。			
●書式 \${status.ステータス変数} ステータス変数 (一部) index: 現在のループのカウンタ値を保持しています。初期値は0です count: 現在のループのカウンタ値を保持しています。初期値は1です			
① のitems属性の値にはsessionスコープからキー"cart"を指定し、取得した要素数分繰り返す var属性の値には"item"を指定する			
2. ② に var 属性で指定した item の getItemName() メソッドの戻り値が表示されるように EL 式を使用する			
3. ③ に var 属性で指定した item の getItemArtist() メソッドの戻り値が表示されるように EL 式を使用する			
4. ④ に var 属性で指定した item の getItemPrice() メソッドの戻り値が表示されるように EL 式を使用する			